

第八回 夫婦狒

わしら狸狒の類は人間よりも夫婦の絆が強うてな

昔、知り合いが、その旦那から聞いた話や

その旦那がまだ学生の頃、単車、オフロード車やな、それに乗って山道を走った

峠を越えて道を下つとると、道端にじーさんがしゃがみこんどるちよつと、尋常じゃなかったんで、その旦那は単車を止めて話しかけてみた

じーさんは真つ青な顔して腹を押さえとる

じーさんが言うには峠をちよつと下りた辺りで、乗った軽トラックが道を外して木にぶつかった

一緒に乗ったばーさんは気を失のうて、軀を挟まれて車から出せずにせんと

さて、そんな軽トラックがあったかなと旦那は思ったが、じーさんも怪我しとるようやし、ばーさんも早いとこなんとかせんとあかんと思つて、旦那は峠に引き返したんや

今やつたら、携帯で連絡するところやろうけど、当時はそんなもん、あらへん

せめて、他に通りがかる車か単車がないかと思いつつ峠に近づいた

じーさんが言つたあたりには軽トラックどころか自転車もない

峠の向こう側かも知れんと行つてみたが、なんもない

道から大きく外れて落ちたかとも思つて、戻りは注意深く道の両側を見ていった

なんか黒いもんが道端の草むらの影に隠れとる

旦那は単車を止めて近寄つた

狸の死体や。木の根っこやらなんやらややこしいところに挟まつとる。躰があらぬ曲がり方しとる

ちよつとじーさんが事故つたつちゆう場所なんが気になつたが、

じーさんそのものも気になつたんで、狸はほつといて旦那はじ

ーさんの方に道の両側を見ながら戻つた

じーさんはおらんかった

代わりにじーさんがしゃがみこんどったあたりに狸が倒れとった腹から腸がはみ出とった。息はもうしとらんかったが、躰はまだ温かかった

旦那はじーさん狸を抱いてばーさん狸のところに戻った

ばーさん狸をややししいところから取り出して

じーさん狸といっしょに埋めてやった

どつとはらえ

注釈

貉さんが「【百鬼】妖怪達の集うスレ【夜行】」スレにうぶされたものです

さいしょ、夫婦狸にしてたんですが、狸は化けん。化けるのは貉やあんたの旦那が知らんかっただけや、と主張なさるので、夫婦貉にしました

ってことは、妖怪話じゃないですね